バスケットボール・京王電鉄杯

健闘も昨年同様5位

▶ 攻撃のキーマンとして存在感を見せた宇都

4月27日から29日まで、東京都府中市のトヨタ府中スポーツセンターでバスケットボールの京王電鉄杯が行われ、昨年同様5位となった。

専大は予選リーグAで2勝2敗の3位となり、予選リーグB3位の明大との5位決定戦に臨んだ。新チームが始動したばかりで、中原雄監督も「試合経験の浅いチーム」と評す今年のチームでは厳しい戦いが予想された。しかし、試合は宇都直輝（経営2・中部大第一高）を中心とした攻撃と、チームのモットーであるリバウンドを生かしたディフェンスで第1ピリオドからのリードを守りきり83―64で勝利。

中原監督は「メンタルの浮き沈みがプレーに表れた。常に自分たちのバスケができるかどうかがこれからの鍵」と話した。

（石川　達也・人間科学2＝写真も）

アメフト・春季オープン戦

好調キープ、川崎シリーズ2連勝

アメリカンフットボールの春季オープン戦・川崎シリーズが、川崎球場で行われている。専大グリーンマシーンは5月5日の川崎クラシックで、日体大に14―9で勝利。4月21日の川崎フェスタで行われた一橋大戦に続いて2連勝と好調をキープしている。

1、2年次生を多数起用しつつも安定した試合展開を見せているのは、上級生が奮起し、1、2年次生がのびのびとプレーできる環境がしっかりと作られているから。松澤宏昭監督も「チームは今までで一番まとまっていると感じている。練習でやってきたことが生きている場面もあり、彼らの精いっぱいのプレーに期待している」と語った。

3連勝のかかった5月19日に行われる東大戦（川崎ボウル）に向けてチームの結束はより強固なものとなっている。

（西浦　佑・ネット情報2）

▲ 大塚諒（法3）が逆転のタッチダウンを決めた（日体大戦＝撮影・吉崎）

ヨット・関東学生春季選手権

16年ぶり決勝進出果たす

関東学生ヨット春季選手権の予選が4月27日から5月5日まで、神奈川県の葉山町海岸沖で開催された。専大は470級Aブロックで8位となり、16年ぶりに春季選手権の決勝進出を果たした。

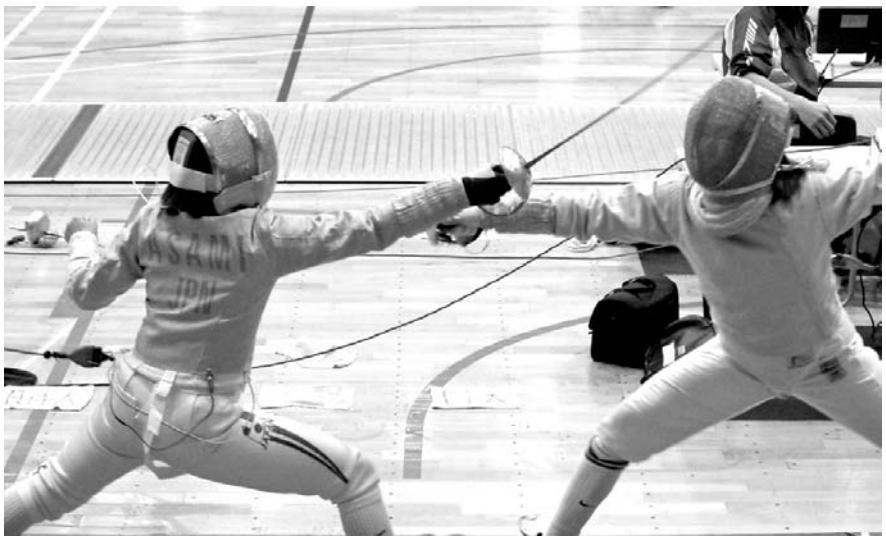
なお、A・B各ブロックの上位8校による決勝（5月11、12日、同会場）は16位だった。

川村星矢主務（経済3・富士河口湖高）は「上位校との差が大きいので、少しでも埋められるように、今後も練習していきたい。部内でも各艇に差があるので、練習の質を上げ、個々の実力を向上させていきたい」と話した。

▲ 4034艇に乗る江本大輝主将（文4）㊨と奈良啓吾（経済2）

フェンシング・剛騎杯女子サーブル

淺海、滝澤がともに3位



▶ 果敢な攻めを見せる淺海㊧

4月13、14日の両日、東京・大蔵第二運動場体育館で剛騎杯フェンシング選手権が行われ、女子サーブルで、淺海裕子（文2・熊毛南高）と滝澤麻未（経済2・横浜商科大高）が3位となった。

淺海は予選プールを3戦全勝で通過すると、決勝トーナメント2回戦も10―6で勝利し、危なげなく準決勝に進んだ。準決勝で惜しくも敗れ、「優勝を狙える大会だったので、うれしさと悔しさが半々な気持ち」と語った。同じく滝澤も接戦を制し準決勝へと駒を進めたが、今野選手（東京女子体育大）の前に力尽きた。「去年は予選敗退だったが、今大会では3位という成績を残せて自信になった」と話した。

また、女子フルーレ個人で安部夏帆（商1・聖霊女子短大付高）が5位、男子サーブルで後藤郁弥（文2・鹿児島南高）が6位に入賞した。

森川が7位

東京都選手権　男子サーブル

4月27日から29日まで、大蔵第二運動場体育館で行われた東京都選手権では、男子サーブルで森川誠智（法4・大垣南高）が7位に入賞した。

予選プールを6位で通過し、シード権を手にした森川はトーナメント2回戦から出場。2回戦、3回戦と順調に勝ち上がったが、続く準々決勝で敗れた。「勝ち進むにつれてうまくいかなくなっていった。次は簡単な技ばかり出すような楽な方向へ逃げずに、我慢して粘り強く駆け引きをしていきたい」と悔しさをにじませた。

（湯澤　時生・人間科学2）

新人3人が強化選手に

スピードスケート

公益財団法人日本スケート連盟が平成25年度スピードスケート強化選手を発表した。専大からは近藤太郎（経営1・駒澤大附苫小牧高＝写真㊤）が「強化選手A」と「ナショナルチームパシュート強化選手」に、土屋良輔（経営1・嬬恋高＝写真㊥）が「強化選手B」に、池田崇将（経営1・白樺学園高＝写真㊦）が23歳以下の選手を対象とした「ネオシニア強化選手」にそれぞれ委嘱された。近藤と土屋はJOCオリンピック強化選手にも指定されている。今後のユニバーシアードやオリンピックでの活躍に期待したい。

監督交代

◇アイスホッケー部
高橋裕一氏（昭61経済）

◇漕艇部
渡邉秀幸氏（平22文）

記録コーナー

◇アイスホッケー部
▽関東大学選手権（4月6～29日＝ダイドードリンコアイスアリーナ）
最終順位＝9位

◇卓球部
▽関東学生新人選手権
5月30、31日（所沢市民体育館）

◇馬術部
▽関東学生選手権
5月24～26日（JRA馬事公苑）
▽全日本ヤング総合大会
5月30日～6月2日（JRA馬事公苑）

◇バスケットボール部
▽関東大学新人戦
6月10日～6月16日（代々木第二体育館ほか）
▽関東大学女子新人戦
6月8～24日（未定）

◇バドミントン部
▽関東学生選手権
6月3日～終了日未定（所沢市民体育館ほか）

◇バレーボール部
▽関東大学リーグ戦
5月18日　法大戦（日体大健志台キャンパス米本記念体育館）
5月19日　東海大戦（慶大日吉記念館）

◇ハンドボール部
▽関東学生春季リーグ戦
5月19日（東洋大朝霞キャンパス）

◇フェンシング部
▽関東学生リーグ戦
5月21～24日（駒沢屋内球技場）

◇陸上競技部
▽関東学生対校選手権
5月18～26日（国立競技場ほか）

◇レスリング部
▽東日本学生リーグ戦
5月14～17日（駒沢体育館）
▽東日本学生春季新人選手権
6月12～14日（駒沢体育館）

Sports カレンダー

◇アーチェリー部
▽全日本学生東日本大会
5月25、26日（キロロリゾート）

◇アメリカンフットボール部
▽川崎インビテーション
6月2日　法大戦（川崎球場）

◇ゴルフ部
▽関東大学春季Aブロックリーグ戦
5月20～24日（こだまゴルフクラブ）
▽関東女子大学春季Aブロック対抗戦
6月5、6日（フレンドシップカントリークラブ）

◇射撃部
▽十大学定期戦
5月25日（朝霞オリンピック射撃場）
▽関東学生ライフル射撃選手権春季大会
5月30日～6月2日（長瀞総合射撃場）

◇柔道部
▽東京学生柔道優勝大会
5月26日（日本武道館）

◇水泳部（水球）
▽関東学生リーグ戦
5月25日～6月23日（生田キャンパスほか）

◇相撲部
▽東日本学生選手権
6月2日（国技館）